



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 八洲電機株式会社

コード番号 3153 URL <http://www.yashimadenki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 太田 明夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 今町 和至

TEL 03-3507-3349

四半期報告書提出予定日 平成25年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	14,310	△6.9	87	△48.7	122	△40.6	59	△25.8
25年3月期第1四半期	15,365	6.7	170	3.4	205	△8.6	80	△53.4

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 138百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △6百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	2.74	—
25年3月期第1四半期	3.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
26年3月期第1四半期	41,684		14,072		32.8	
25年3月期	48,296		14,238		28.6	

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 13,666百万円 25年3月期 13,827百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	9.0	1,630	14.6	1,730	10.2	870	15.3	39.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	21,782,500 株	25年3月期	21,782,500 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	1,184 株	25年3月期	1,184 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	21,781,316 株	25年3月期1Q	21,781,334 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、円安や株価の回復に伴い穏やかな回復傾向にあります。大企業・製造業の業況は改善傾向が見られる一方、中小企業の本格的な改善には未だ時間が掛かると思われ、依然として先行き不透明な状態にあります。

このような状況下において、当社グループは今期より事業部制を導入し、ソリューション機能強化による事業の拡大と収益の向上を目指し、顧客ニーズを的確に捉えた省エネ・高効率化の提案営業を押し進め、受注は計画どおりに推移しましたが、当期の売上高には寄与しませんでした。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は143億10百万円(前年同四半期比6.9%減)、営業利益は87百万円(前年同四半期比48.7%減)、経常利益は1億22百万円(前年同四半期比40.6%減)、四半期純利益は59百万円(前年同四半期比25.8%減)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①システム・ソリューション事業

プラント事業分野では、鉄鋼関連の国内設備投資は減少しましたが、石油・化学プラント・非鉄分野の老朽化更新による受注は増加したため、売上高は好調に推移しました。

産業システム事業分野では、商業施設における省エネ対策として店舗内LED化投資が継続され、また、クラウド化に伴う情報通信量の増加により、データセンター用空調設備の投資が増強され、受注は確保しましたが、当期の売上高には寄与せず低調に推移しました。

社会インフラ事業分野では、運輸分野における省エネルギー化の設備投資が推進され、売上高は好調に推移しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は129億38百万円(前年同四半期比1.0%増)となり、セグメント利益(営業利益)は5億70百万円(前年同四半期比9.5%減)となりました。

②電子デバイス・コンポーネント事業

半導体市場における産業機器・通信分野では、円安により輸出が徐々に回復してきたため需要は改善傾向にありますが、当期における影響は軽微であり、売上高は低調に推移しました。

アミューズメント分野では、顧客の生産調整に伴い需要が大幅に減少したため、売上高は低調に推移しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は13億72百万円(前年同四半期比46.3%減)となり、セグメント損失(営業損失)は31百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は363億2百万円で、前連結会計年度末に比べ66億44百万円減少しております。主な要因は、現金及び預金（69億25百万円から69億58百万円へ32百万円増）、商品（31億27百万円から35億67百万円へ4億39百万円増）が増加した一方、受取手形及び売掛金（271億24百万円から211億68百万円へ59億56百万円減）、未収入金（45億67百万円から35億10百万円へ10億57百万円減）が減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は53億81百万円で、前連結会計年度末に比べ33百万円増加しております。主な要因は、投資有価証券（18億46百万円から19億59百万円へ1億13百万円増）が増加した一方、ソフトウェア（12億51百万円から11億87百万円へ63百万円減）、のれん（2億35百万円から2億22百万円へ13百万円減）が減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は276億12百万円で、前連結会計年度末に比べ64億45百万円減少しております。主な要因は、支払手形及び買掛金（232億44百万円から190億48百万円へ41億95百万円減）、未払金（57億54百万円から45億97百万円へ11億57百万円減）、前受金（13億83百万円から8億95百万円へ4億88百万円減）、賞与引当金（5億83百万円から1億80百万円へ4億2百万円減）が減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は140億72百万円で、前連結会計年度末に比べ1億66百万円減少しております。主な要因は、その他有価証券評価差額金（1億81百万円から2億43百万円へ62百万円増）が増加した一方、利益剰余金（110億24百万円から108億円へ2億23百万円減）が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期の業績予想につきましては、平成25年5月15日に公表したとおりであります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,925	6,958
受取手形及び売掛金	27,124	21,168
有価証券	427	407
商品	3,127	3,567
原材料	5	5
未成工事支出金	86	129
仕掛品	62	75
未収入金	4,567	3,510
繰延税金資産	351	313
その他	348	213
貸倒引当金	△80	△46
流動資産合計	42,947	36,302
固定資産		
有形固定資産	1,327	1,316
無形固定資産	1,498	1,421
投資その他の資産		
その他	2,551	2,673
貸倒引当金	△29	△29
投資その他の資産合計	2,522	2,643
固定資産合計	5,348	5,381
資産合計	48,296	41,684
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,244	19,048
短期借入金	380	380
未払金	5,754	4,597
未払法人税等	258	26
賞与引当金	583	180
資産除去債務	66	66
その他	1,937	1,533
流動負債合計	32,225	25,833
固定負債		
長期借入金	270	225
退職給付引当金	1,401	1,397
繰延税金負債	3	3
資産除去債務	8	8
その他	147	143
固定負債合計	1,832	1,779
負債合計	34,057	27,612

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,585	1,585
資本剰余金	1,037	1,037
利益剰余金	11,024	10,800
自己株式	△0	△0
株主資本合計	13,646	13,423
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	181	243
その他の包括利益累計額合計	181	243
少数株主持分	410	405
純資産合計	14,238	14,072
負債純資産合計	48,296	41,684

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	15,365	14,310
売上原価	12,917	12,025
売上総利益	2,447	2,284
販売費及び一般管理費	2,277	2,197
営業利益	170	87
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	10	11
不動産賃貸料	12	5
その他	21	25
営業外収益合計	47	45
営業外費用		
支払利息	2	2
不動産賃貸原価	5	5
その他	4	3
営業外費用合計	11	10
経常利益	205	122
特別利益		
保険解約返戻金	—	2
その他	—	0
特別利益合計	—	3
特別損失		
固定資産除却損	0	—
減損損失	34	—
特別損失合計	35	—
税金等調整前四半期純利益	170	125
法人税、住民税及び事業税	24	23
法人税等調整額	57	35
法人税等合計	81	58
少数株主損益調整前四半期純利益	88	66
少数株主利益	8	7
四半期純利益	80	59

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	88	66
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△95	72
その他の包括利益合計	△95	72
四半期包括利益	△6	138
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8	122
少数株主に係る四半期包括利益	1	16

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	システム・ソリューション事業	電子デバイス・コンポーネント事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	12,809	2,555	15,365	15,365	—	15,365
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	12,809	2,555	15,365	15,365	—	15,365
セグメント利益又は 損失(△)	630	△12	617	617	△447	170

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等管理部門に係る経費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

いずれの報告セグメントにも配分されていない将来の使用が見込まれなくなった遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては34百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	システム・ソリューション事業	電子デバイス・ コンポーネント 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	12,938	1,372	14,310	14,310	—	14,310
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	12,938	1,372	14,310	14,310	—	14,310
セグメント利益又は 損失(△)	570	△31	538	538	△451	87

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等管理部門に係る経費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。